

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）6

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43782

40/10/11 宇川局長・エマソン公使会談

止し、自民党は何れもやらせぬという事は、公平に競べさせるに高橋首相が不公平に介

入せしめる事の批判 ^と 高橋が水戸と界りが
否か ~~否~~ 自民党の許すを阻止
せよと云ふ事は

よく云ふ事は水戸の事、と報酬した
ら、先ずは、水戸に直接答えず、高橋首相

を社会党は一切許すにせよと云ふ
事水戸の事、社会党も、選挙は許

すよと云ふ事をしなさいと云ふ、今回が特
に目立つて云う事がある、選挙、自民党、社会

党を問わず、水戸の自由を許すを認め
る選挙の方針は、今後先ず水戸の事

への答えず、
次に、先ずは、選挙に潜り入れた高橋

公道5人委員会近く、本土に乗りこむに
なり、各方面に了解を促す事、その場

合、民間の関係者と会談する場合、慎重
な事、政府関係者と会談する場合、

高橋が先ず記者会見を述べたらしい、高橋
は、主席公道は民主主義の原則から構築

した事、高橋が最終的には絶頂権者の米例
の決める事、高橋のライン、を統一して

話しを述べた、
水戸に對し、高橋が、最終的に米例が

決める事、高橋の同僚が、日本政府は、
水戸の米例とこの問題を話し合ふ事、

高橋も話し合ふ事、高橋は言わぬ事、
高橋は、水戸に對し、現在、協定委員会

取上げるといふことを考へたわけは、何と
 答へたに、先ずは、米側の施政権に因り
 (日本政府が、本件を米側と話し合ふことと云つたは、
 米の協定を米に提出し、協定委員会へ送付し出し、
 同定)

米側との協定委員会にかつたが、先
 に米側自らの問題を協定委員会にかつた
 語の下の時も、米側は受けたと云ふは、
 当然、現在協定委員会にこの問題をかつた

と云ふことは、いふが、沖縄に於て日本政
 府が、自らの責任を行使するに際しては、
~~施政権に因り~~

助しかつたから、施政権に因り米側は
 一切協定委員会にかつたといふは、協
 定委員会に権限拡大は、無意味なことに、
 権限拡大の際の了解は、何をか、事前に
 (と)

協定委員会、合意の範囲、討議の内容を
 公表し、^{のり} ^{沖縄に} 最終的に決定権

^か 高等弁務官に於ては、同意したものと、
 協定委員会に決定材料として送らる。と、
^{わんわん}

意見の交換の形では、何等施政権に介入可
 らなからうといふこと、主席公選の
 内容に、^{はう} 現在、時期尚早であるといふ
 が、^採 材料が送らる。協定委員会に取上げ
 ことを明確にして、^{はう} 交渉し、

決裁 北米課長 X

起案者 渡辺 EXT. 671
昭和 40年 10月 12日

文書課長 送付公信

秘 無期限

米北 第 1232 号

昭和 40年 10月 13日

在 米 武内 (公)使 總領事 殿

外 務 大 臣

引用公・電信番号

同封、別便(行のう、空郵、空貨、船郵、船貨)

送付資料、物及び備考

北米局長、エーソン公使 会谈録字一部
(沖縄問題)

付属物添付

13 197

PT
後藤君
311